

■文化会館(マドカホール)	時期	成果	0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者	
ア 子どもたちや親子を中心とした音楽や演劇、ダンスなどさまざまな形での体験機会や鑑賞機会の提供に努めます。									3事業			
アートマルシェの開催(第12回子どものためのアートマルシェ)	8月	参加者 (内 体験者 224 126) 名	○	○		○	○	フォーム申込にしたことでより簡単に申込できるようになった。また、毎年参加される市民もあり、文化芸術に触れる機会の提供を担っているといえる。	A	A	B	A
幼児対象アウトリーチ事業(参加体験型演劇ワークショップ)	11月～12月	参加者 95 名	○					子どもたちに、プロの劇団員によるワークショップを通じて、制作や演劇の楽しさ、想像力を感じてもらえるよい機会である。子どもたちの楽しそうな姿を見られたことはもちろん、先生方にも「良い経験となった」との感想をもらっている。	A	A	—	A
インクルーシブコンサート事業	5/24(日)	入場者数 125 名	○	○		○		普段コンサートに足を運びづらい子どもに音楽鑑賞の機会を提供するという事業の目標を達成した。	A	A	B	A
イ 育成団体である「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」の活動を支援し、輪を広げる事業展開に努めます。									2事業			
育成団体「岸和田市少年少女合唱団」「岸和田市音楽団」「マドカドラマスクール」指導者謝礼の支出	通年	指導者数 7 名		○			○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしていきたい、支援を続けていきたい。	A	—	—	A
「岸和田市少年少女合唱団」定期公演の開催 「岸和田市音楽団」定期公演の開催 「マドカドラマスクール」定期公演の開催	1/11(日) 11/30(日) 6/1(日)	入場者数 250 320 名 228		○			○	育成団体の活動を発表する場を支援。各団体と連携しながら今後も継続する。	A	A	A	A

■文化会館(マドカホール)	時期	成果	0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
ウ 公募展である市展や地域で活動する市民や団体が参加するマドカ合唱祭の充実・発展に努めます。									2事業		
第77回岸和田市市展／受賞作品展の開催	5月～6月	入場者数 2,059 名 出品者数 252 名					○	出品者の高齢化は切実だが、若い世代の出品を広げるべく、高等学校への募集要領の配布の工夫を行った。また、受賞作品展では、招待状、ポスターを作成するなど集客に努めた。	B	B	B
	11月	入場者数 426 名									
第38回マドカ合唱祭の開催	3/8(日)	入場者数 500 名					○	事業の運営に関しては、実行委員会形式をとり、協議しながら内容を決めている。委員、また参加団体の意欲を高めていくため、仕組みづくりの強化が必要。	A	A	A
エ 市民文化活動の場としての文化祭について、実行委員会の活動を支援し、事業の充実・発展に努めます。									3事業		
第77回岸和田市文化祭の開催	9月～11月	入場者数 18,263 名					○	昭和23年から続いている文化祭は、市民の文化活動の成果を発表する場として定着している。	A	A	A
文化振興功労者表彰式	11/3(月)	入場者数 193 名					○	文化、教育、スポーツ等の功労に対する表彰式典。	A	A	A
文化の日祝典記念事業	11/3(月)	入場者数 195 名					○	女性コーラスによるハーモニーを来場者には楽しんでいただくことができた。	A	A	A
オ 障害者・児のための作品展の開催を支援します。									0事業		
カ 市内小中学校の音楽会や鑑賞事業、市内中学校におけるクラブ活動発表会などの子どもたちの文化事業の実施を支援します。									2事業		
芸術鑑賞事業の実施	通年	0 校		○				令和7年度は利用がなかった。	C	-	C
チャレンジ支援事業	通年	3 件 2 校		○				本番に近い環境を整え、提供できた。ただ利用校は例年同じであり、来年度は周知方法を追加・工夫し利用団体の参加をより促していきたい。	A	A	A

■文化会館(マドカホール)	時期	成果	0歳～就学前	小学生以上	妊産婦	障害者・高齢者	その他	自己評価	来場者満足度	入場率	事業実施者
キ 庁内のさまざまな施策と連携し、文化活動を通じた子どもたちの健全育成や地域の魅力づくりに努めます。									0事業		
ク 市民や文化団体等の主体的な芸術文化活動の支援、育成に努めます。									2事業		
自泉会館指定管理者(岸和田文化事業協会)への事業委託(5件)	通年	入場者数 466 名		○			○	今年度も様々なジャンルの事業を実施し、たくさんの方に楽しんでいただけた。	A	A	A
共催事業の実施(5件)	通年	入場者数 名					○	マドカホールを会場とした事業に対し、会場負担の支援。	A	A	A
ケ ワークショップや講座の開催など文化活動の普及に努めます。			2事業								
アートマルシェの開催(第16回アートマルシェ)	3月	参加者 (内 体験者) 453 185) 名	○	○		○	○	3月はプロのパフォーマンス鑑賞を取り入れたことにより新規参加者や他市からの来館者も多く、参加者からの満足度も高かった。	A	A	A
コ 3館合同事業による市民参加や体験の機会を創出します。			2事業								
3館合同事業 年始め紅白音合戦	1月25日	参加者 入場者数 93 200 名					○	音楽なら何でもOKという敷居を低くすることで、多様な参加者が集まった。参加者からの満足度も高かった。	A	A	A

■文化会館(マドカホール)	時期	成果	0歳 ～就 学前	小学 生以 上	妊産 婦	障害 者・高 齢者	その他	自己評価	来場者 満足度	入場率	事業実 施者
サ 国際交流を通じた青少年の異文化交流や異文化理解に努めます。1事業											
国際親善協会支援事業、日中友好協会支援事業、日韓親善協会支援事業	通年						○	団体のレベルを維持していくため、今後も連携を密にしてい き、支援を続けていきたい。	-	-	S
青少年海外音楽交流受入事業	4～5月	4 名		○			○	初めての音楽交流受入事業であ ったが、公演の成功により文 化的な市民交流の成果を得る ことができた。今後も音楽とい うテーマを通じて相互交流を継 続できるように事業展開を行っ ていく。	-	-	S
大阪・関西万博に伴う姉妹・友好4都市受入事業	7～10月	21 名		○				大阪・関西万博の国際的なイ ベントにより、姉妹・友好都市 の4都市とさらに交流を深めるこ うができた。	-	-	S
姉妹友好都市交流事業	8～11月	30 名		○				国際交流を通じて芸術文化の 交流や、青少年による交流、そ してスポーツ交流と幅広く交流 を実施できた。 今後も事業継続し、課題や改 善点から事業内容を充実させ る。	-	-	S